

農地環境学特論 (2 単位)

担当者氏名 三原真智人, 藤川智紀

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

農地保全、農地管理等に関して、農地における水、土壌、空気、肥料成分、微生物等の物質移動の実態を理解し、持続可能な作物生産のための生産環境づくりについて習得することを到達目標とする。併せて、国内のみならず海外の農地環境についても学習していく。この科目は、必要に応じてバイリンガル（日本語と英語）で実施する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農地保全 農地管理 海外事例 環境保全
気候変動 _____ _____ _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	ガイダンス(第1週)	・講義の進め方, 課題の解説	本講義の前提となる地域環境保全学や農地環境工学, 土壌物理学の復習が必要である。また教科書および配付する資料を熟読しておく。 復習としては課された問題に取り組むとともに、授業の振り返りを必ず行うこと。
2	農業開発と環境保全 (第2~7週)	・持続的農業について理解を深めるとともに環境評価手法に関して習得する。	
3	農地からの温室効果ガス発生(第8~13週)	・農地からの温室効果ガス発生メカニズムと農作業の影響を理解する。	
4	テスト(第14週)	・講義で説明した内容に関するテスト	
5	総括(第15週)	・テストを解説し, これまでの講義を総括する。	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)
農地環境工学/山路・塩沢/文永堂(2008年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)
適時、担当教員から指示する。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート 40%、講義中のディスカッションへの寄与 30%、テスト 30%で評価する

◆オフィスアワー

授業日の 18:00 から 19:00

◆その他受講上の注意事項

関数電卓、英和辞書、配布された資料等を毎回の授業に持参すること。講義内容に関して質問がある場合は、担当教員へメールで連絡すること (三原: m-mihara@nodai.ac.jp, 藤川: t3fujika@nodai.ac.jp)。